

研修科目一覧

2026年度

公益財団法人愛知県市町村振興協会

目 次

● 2025年度からの変更点	1
● I 研修実施にあたっての留意事項等	2～3
● II Zoom研修の実施について	4～5
● III オンデマンド(動画配信)研修の実施について	6～7
● IV Zoom研修、オンデマンド(動画配信)研修推奨環境	8
● V 研修科目一覧	9～12
● VI 研修科目概要	13～23
1. 家庭介護者等養成研修(呼称:ハートフルケアセミナー)	13～16
2. 現任介護職員研修	17～21
3. 介護支援専門員研修	22～23

2025年度からの変更点

1. 研修科目の変更(新規:4科目 廃止:2科目 修正:4科目)

新 規

研修種別	科目コード	科目名
家庭介護者等養成研修	1114	家庭における看取りの理解
現認介護職員研修	2304	ハラスメント防止研修 オンデマンド(動画配信)版
現認介護職員研修	2305	BCP研修(自然災害) オンデマンド(動画配信)版
介護支援専門員研修	3208	困難事例の対応について
介護支援専門員研修	3304	ハラスメント防止研修 オンデマンド(動画配信)版
介護支援専門員研修	3305	BCP研修(自然災害) オンデマンド(動画配信)版

※2304と3304、2305と3305は、それぞれ同一内容の科目です。

廃 止

研修種別	科目コード	科目名
現任介護職員研修	2301	介護職員に求められる心構え・ルール オンデマンド(動画配信)版
介護支援専門員研修	3301	高齢者の自立を支える福祉用具 オンデマンド(動画配信)版

修 正

研修種別	科目コード	科目名	時間数(修正前)	時間数(修正後)
介護支援専門員研修	3102	要介護の原因となる病気の理解	2時間	3時間
介護支援専門員研修	3103	(県薬剤師会連携) 介護支援専門員として知っておきたい高齢者の薬物療法の問題点と対策	2時間	3時間
介護支援専門員研修	3104	ICF(国際生活機能分類)の理解	2時間	3時間
介護支援専門員研修	3106	介護支援専門員のための栄養マネジメント入門	2時間	3時間

I 研修実施にあたっての留意事項等

1. 研修科目の申請について

1) 研修の種別

- ・ 研修種別は、以下の3種類となります。

①家庭介護者等養成研修 ②現任介護職員研修 ③介護支援専門員研修

2) 研修日程の定義

半日研修 (午前か午後)	半日	2時間又は3時間の研修科目を午前か午後のいずれかに設定し、 半日で実施する場合を「半日」研修とします。
	半日×2日間	
	半日×3日間	
	半日×4日間	
	半日×5日間	
1日研修 (午前と午後)	1日	2時間又は3時間の研修科目を午前と午後の両方に設定し、 1日で実施する場合を「1日」研修とします。
	2日間	
	3日間	
	4日間	
	5日間	

3) 研修申請のルール

- ・ 1件の申請では、同一の研修種別の中から研修科目を選択し組み合わせてください。
- ・ ①家庭介護者等養成研修は一般市民・ボランティア向けの研修内容となっております。
- ・ ②現任介護職員研修と③介護支援専門員研修は現任訓練を目的とした研修です。
- ・ 日曜日に研修を設定する場合、申請できる日時は毎月第3日曜日の指定とします。
- ・ 開始時刻は9時00分からとし、終了時刻については平日は18時まで、土日は17時までとしてください。
- ・ Zoom研修、オンデマンド(動画配信)は他科目と組み合わせての申請はできません。

I 研修実施にあたっての留意事項等

2. 研修の実施について

- ・ 科目ごとの定員は目安になりますが、定員を超える場合や極端に受講生が少ない場合(10名以下)は、事前にご相談くださいますようお願いいたします。
- ・ 受講者に関わる研修中の事件・事故等、危機管理に対する安全配慮については主催である主催市町村に責務が発生します。
必要な場合は、保険加入される等の措置をお願いいたします。

3. 研修の休憩時間について

- ・ 午前と午後を通して1日間研修を行う場合は、途中で1時間(昼食等)の休憩時間を必ず確保してください。

4. 研修物品・備品等について

- ・ ベッドのレンタル費用が発生する場合、振興協会が費用負担します。必要事項を実施申請書(資料1「実施要綱」P.5参照)に記入してください。

※ ベッド以外のポータブルトイレ、車椅子等の中型備品は主催者様にて費用をご負担の上ご準備ください。

- ・ 「ベッド」は原則として、8～10名につき1台、「車椅子」は原則として、4名につき1台必要です。
- ・ 「広めの講義室」とは、受講者数の2倍以上の収容定員の部屋のことを指します。
- ・ 使用備品等は講師により異なりますので、会場にご準備いただく物品等詳細は、研修センターより連絡メモにて受講者持ち物と合わせてご連絡します。

II Zoom研修の実施について

＜研修科目＞

現任介護職員研修： 科目コード2302 「依存症の高齢者への対応のポイント Zoom版」

科目コード2303 「介護職員のメンタルヘルス Zoom版」

※2026年度のZoom研修対応科目は上記の2科目です。他科目でのZoom研修対応のご相談は受け付けておりませんので、ご了承ください。

＜研修の流れ＞

- ① 実施日の約3ヶ月前までに「研修確認表（Zoom）」にて実施日を申請してください。

実施日は4月から2月までの間の**水曜日**（祝日を除く）とします。

※研修の運営上、実施件数に限りがありますので申請が必ず通るものではありません。ご了承ください。



- ② 研修センターより各市町村に「研修要項」、「研修概要について」を2ヶ月前を目処にメールで送信します。

※実施日の3週間前までに誓約書をホームページの専用フォームからアップロードし、あわせて、確定した人数もご入力ください。



- ③ 「誓約書」を提出いただいた各市町村へ研修センターより「Zoom入室用アカウント一覧」（ID、パスワード配布用）を20～15日前を目途にご提供します。

※ 研修センターからID、パスワードを発行後、アカウントの増減を希望される場合は、実施日の14日前までにご連絡をお願いいたします。



- ④ 各市町村から受講者へZoom研修参加に必要なID、パスワード、研修要項の3点を適切な方法にて配布していただきます。
（配布方法は各市町村にお任せいたします）



- ⑤ 研修実施日に掲載された「日本福祉大学LMSシステム」へログインし、事前に配布したID、パスワードを入力し、掲載されたURLからZoomのミーティングルームへ入室して研修を受講いただけます。



- ⑥ 研修終了後、アンケート、完了確認報告書を1週間以内を目安に研修センターホームページの専用フォームからアップロードしてください。

II Zoom研修の実施について

＜受講の条件＞

- ・ 研修を受講いただくにはID、パスワードが必須となります。人数分のID、パスワードの申請を行ってください。
(会場集合型での研修は原則ご遠慮ください。また1人1端末での受講をお願いいたします。)
- ※1名分のIDで同時に複数の機器にてログインすることはできません。
- ・ インターネットに接続できるカメラ及びマイク付きのPC等を受講者自身に準備していただく必要がございます。
※通信量無制限の環境を推奨いたします。また通信料は受講者の負担となりますので、予めご了承ください。
- ・ 受講者からのお問い合わせは各市町村でご対応いただきます。(確認表に記載のメールアドレスを受講者の問い合わせ先とさせていただきます)
- ・ 講師のZoom配信会場は研修センターが指定する会場となります。また研修の当日の講師対応は研修センターが担当します。
- ・ 研修当日は開始45分～35分前までに入室いただき受講者の入室管理、司会進行、受講者からの問い合わせ対応、緊急時対応、研修センターとの連絡等のご対応をお願いいたします。
- ・ 受講者側の通信環境の不具合などで視聴ができない場合があっても補講等の手配はありません。

＜留意事項＞

- ・ 申請は各市町村で**各科目年間1回**までとさせていただきます。
※また、今年度の市町村からの申請総数が多数となった場合には抽選させていただく場合がございます。ご承知おきください。
- ・ Zoom研修は他科目との組み合わせでの申請は行えません。
- ・ ZoomのURLの発行は社会福祉総合研修センターが行います。なお、講師の配信会場は当方が設置する会場にて行います。
- ・ Zoom研修の内容を録画録音、それに準ずる行為は禁止です。各市町村の責務において受講者に徹底ください。

上記の記載事項をお読みいただき、ご了承のうえ申請をお願いいたします。

Ⅲ オンデマンド(動画配信)研修の実施について

<研修科目>

現任介護職員研修

- ・ 科目コード2304「ハラスメント防止研修 オンデマンド(動画配信)版」
- ・ 科目コード2305「BCP研修(自然災害) オンデマンド(動画配信)版」

介護支援専門員研修

- ・ 科目コード3302「認知症の方の理解～若年性認知症の方への支援のポイント～オンデマンド(動画配信)版」
- ・ 科目コード3304「ハラスメント防止研修 オンデマンド(動画配信)版」
- ・ 科目コード3305「BCP研修(自然災害) オンデマンド(動画配信)版」

※2026年度のオンデマンド(動画配信)対応科目は上記の5科目です(ただし、2304と3304、また、2305と3305はそれぞれ同じ内容になります)。他科目でのオンデマンド(動画配信)対応のご相談は受け付けておりません。ご了承ください。

<研修の流れ>

- ① 実施月の約3ヶ月前までに「研修確認表(オンデマンド)」にて実施月を申請してください。

実施期間は4月から2月までの間の1ヶ月(1日から月末まで)とします。

※実施予定日を記入する際は実施月のみ指定【例:10月 ○ 10/5 10時 ×】



- ② 研修センターより各市町村に「研修要項」、「研修概要について」を2ヶ月前を目処にメールで送信します。

実施日の3週間前までに誓約書をホームページの専用フォームからアップロードし、あわせて、確定した人数もご入力ください。



- ③ 「誓約書」を提出いただいた各市町村へ研修センターより「動画視聴用アカウント一覧」(ID、パスワードの配布用)を20～15日前を目途にご提供します。

※ 研修センターからID、パスワードを発行後にアカウントの増減を希望される場合は、実施月の14日前までにご連絡をお願いいたします。



- ④ 各市町村から受講者へID、パスワード、研修要項の3点を適切な方法にて配布していただきます。

(配布方法は各市町村にお任せいたします)



- ⑤ 申請いただいた月の1ヶ月間(1日の0時00分から30日または31日の23時59分まで)動画を視聴いただけます。



- ⑥ 視聴期間終了後、1週間以内を目安にアンケート、完了確認報告書を研修センターホームページの専用フォームからアップロードしてください。

(受講者の視聴完了状況(視聴人数等)は各市町村にてご確認いただく必要があります)

Ⅲ オンデマンド(動画配信)研修の実施について

<受講の条件>

- ・インターネットに接続できるPCを受講生自身に準備していただく必要があります。
※通信量無制限の環境を推奨いたします。また通信料は受講者の負担となりますので、予めご了承ください。
- ・オンデマンド(動画配信)の視聴方法に関する受講生からのお問い合わせは各市町村でご対応いただきます。
- ・動画を視聴いただくにはID・パスワードが必須となります。人数分のID・パスワードの申請を行ってください。
※1名分のIDで同時に複数の機器にてログインすることはできません。
- ・視聴者側の通信環境の不具合などで視聴ができない場合があっても補講等の手配はありません。
視聴期間内に再度環境を整えて受講しなおしてください。(P8参照)

<留意事項>

- ・視聴期間中であれば何度でもご視聴いただけます。
- ・申請は各市町村で**各科目年間1回**までとさせていただきます。
※また、市町村からの申請総数が多数となった場合には抽選させていただく場合がございますので、ご承知おきください。
- ・視聴開始、終了期間は1日0時から月末23時59分までとなります。(開始・終了日の期間変更は受け付けません)
- ・オンデマンド(動画配信)は他科目との組み合わせでの申請は行えません。
- ・オンデマンド(動画配信)の内容を録画・録音、それに準ずる行為は禁止です。各市町村の責務において受講者に徹底ください。

上記の記載事項をお読みいただき、ご了承のうえ申請をお願いいたします。

IV Zoom研修、オンデマンド(動画配信)研修推奨環境

■推奨環境

パソコン

Windows10、11 (Microsoft Edge、FireFox、Google Chrome 各種最新版を推奨)
macOS High Sierra 10.13以降 (Safari 最新版を推奨)

◆参考

モバイル (タブレット、スマートフォン)

iOS14.0 以降 (Safari 最新版を推奨)、Android8.0以降 (Google Chrome 最新版を推奨)

※上記以外のブラウザでは正しく表示されない場合や、機能の一部が正しく動作しない場合があります。

※Internet Explorer (IE) は対応していませんので、後継ブラウザのMicrosoft Edgeをご利用いただくか、他の推奨ブラウザをご利用ください。

※通信環境が不安定な場所では、受講がうまくいかない場合がございます。

※データ通信量が膨大になる可能性があるため、データ通信料が無制限のネットワーク環境を用意することを推奨いたします。

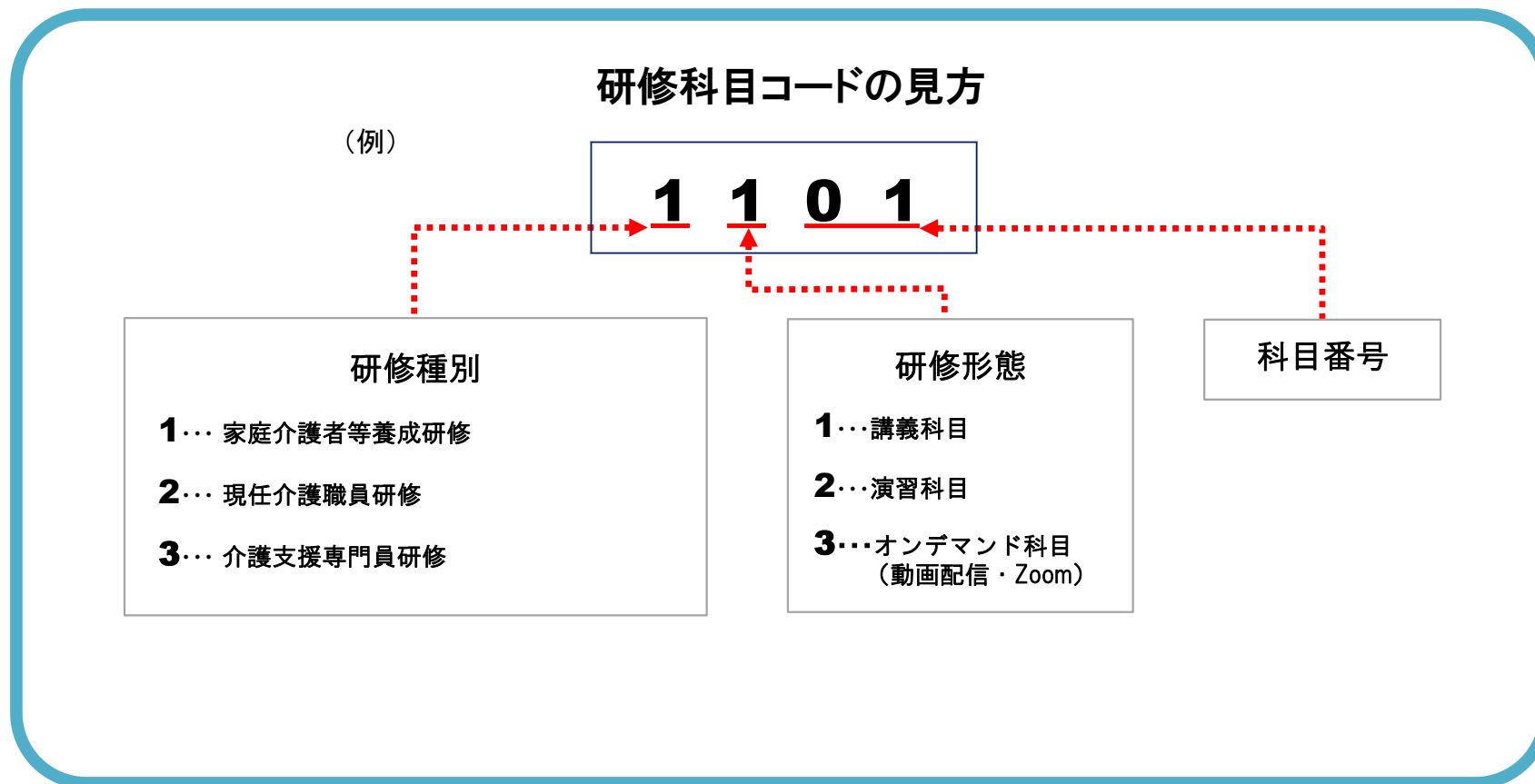
※モバイルについては、Wi-fi や 4G LTE などの高速回線のご利用をお勧めいたします。

※Android、iOS については、一部機種での OS・ブラウザの動作確認を行っておりますが、ご利用の環境によっては、正しくご覧いただけない場合がございます。

V 研修科目一覧

<研修科目コードの見方について>

- 1) 受講対象者に応じ、研修科目概要(P13～)をご参照の上、研修科目を選択してください。
- 2) 研修科目の選択にあたっては、研修種別ごとの概要や条件等をご確認ください。



V 研修科目一覧

1. 家庭介護者等養成研修

★2026年度新規科目

研修科目コード	研修形態	科目名	時間数	定員	掲載ページ
1101	講義	家庭介護を担う人の心構え	2時間	40名	P. 13
1102	講義	高齢者のための健康管理	2時間	40名	P. 13
1103	講義	認知症の方の基礎理解とケア	2時間	40名	P. 13
1104	講義	高齢者のための介護予防入門	2時間	40名	P. 13
1105	講義	家庭介護におけるトラブルと応急手当の基礎知識	2時間	40名	P. 13
1106	講義	(県薬剤師会連携)高齢者が薬・健康食品と上手につきあうために	2時間	40名	P. 13
1107	講義	高齢者の健康寿命を延ばす食生活	2時間	40名	P. 14
1109	講義	家庭で使える福祉用具	2時間	40名	P. 14
1110	講義	高齢者施設の選び方～どこで最期を迎えるか～	2時間	40名	P. 14
1111	講義	高齢者のための依存症の理解と支援	2時間	40名	P. 14
1112	講義	超入門ー知っておきたい福祉用語について～福祉用語の学びを通して、福祉について理解しよう～	2時間	40名	P. 14
1113	講義	家庭介護を担う人のためのメンタルヘルス	2時間	40名	P. 14
★1114	講義	家庭における看取りの理解	2時間	40名	P. 14
1201	演習	口腔機能向上～健康寿命を延ばす口腔ケア～	2時間	40名	P. 15
1202	演習	バイタルサインを高齢者の体調管理に生かす	2時間	40名	P. 15
1203	演習	家庭のできる脳生き生きトレーニング～認知症予防に向けて～	2時間	40名	P. 15
1204	演習	家庭介護に必要な介護技術入門①～体位変換と移乗の介助～	2時間	20名	P. 15
1205	演習	家庭介護に必要な介護技術入門②～車椅子介助の基本～	2時間	20名	P. 15
1206	演習	家庭介護に必要な介護技術入門③～排泄介助の基本:トイレへの移動・ポータブルトイレの利用～	2時間	20名	P. 15
1207	演習	家庭介護に必要な介護技術入門④～食事介助～	2時間	20名	P. 15
1208	演習	家庭介護に必要な介護技術入門⑤～衣服の着脱・清拭の介助～	2時間	20名	P. 16
1209	演習	知っておきたい高齢者の排泄トラブル～排泄トラブルの原因と対応～	2時間	20名	P. 16
1213	演習	家族介護を担う人のためのリフレッシュ講座～心と体をスッキリ！～	2時間	40名	P. 16
1214	演習	(県柔道整復師会連携)転ばないための身体づくりと転んでしまった後の運動と対処法について	2時間	40名	P. 16
1215	演習	超高齢社会における住民の主体的地域活動の必要性と心構え	2時間	40名	P. 16
1216	演習	超高齢社会の地域活動に生かすレクリエーション～仲間を繋ぐ仕掛けのあれこれ～	2時間	40名	P. 16
1217	演習	「難聴」の理解～耳が聞こえないってどういうこと～	2時間	40名	P. 16

V 研修科目一覧

2. 現任介護職員研修

◎Zoom・オンデマンド(動画配信)科目

研修科目コード	研修形態	科目名	時間数	定員	掲載ページ
2101	講義	褥瘡のケアとその予防について	2時間	40名	P. 17
2102	講義	介護職員として知っておきたい病気の基礎知識	2時間	40名	P. 17
2103	講義	認知症の理解とコミュニケーション技術	3時間	40名	P. 17
2104	講義	(県薬剤師会連携)介護職員として知っておきたい薬の基礎知識	2時間	40名	P. 17
2105	講義	介護職員のための栄養管理入門	2時間	40名	P. 17
2106	講義	介護現場での事故防止・救急対応	2時間	40名	P. 17
2107	講義	介護現場で起こりやすい感染症と対策～コロナ、ノロ、食中毒など～	2時間	40名	P. 18
2108	講義	介護実践に必要な観察のポイント	2時間	40名	P. 18
2109	講義	介護職員のメンタルヘルス	2時間	40名	P. 18
2110	講義	リスクマネジメント研修～虐待・身体拘束防止を中心に～	2時間	40名	P. 18
2111	講義	介護職員のための看取り入門	2時間	40名	P. 18
2112	講義	抱え上げない介護～ノーリフト®で腰痛予防対策～	2時間	20名	P. 18
2113	講義	依存症の高齢者への対応のポイント	2時間	40名	P. 18
2114	講義	障がいを持つ高齢者の理解と支援について	2時間	40名	P. 19
2201	演習	福祉用具入門～力のいらない介護～	2時間	40名	P. 19
2202	演習	介護現場でのレクリエーション支援～レクリエーションで介護予防～	2時間	40名	P. 19
2203	演習	基礎から学べる介護技術①～体位変換と移乗の基本～	3時間	20名	P. 19
2204	演習	基礎から学べる介護技術②～口腔ケアの基本～	3時間	20名	P. 19
2205	演習	基礎から学べる介護技術③～排泄介助の基本:トイレへの移乗・ポータブルトイレの利用～	3時間	20名	P. 19
2206	演習	基礎から学べる介護技術④～食事介助の基本～	3時間	20名	P. 19
2207	演習	基礎から学べる介護技術⑤～衣服の着脱・清拭の基本～	3時間	20名	P. 20
2208	演習	排泄ケアのポイントと福祉用具の活用	2時間	20名	P. 20
2210	演習	(県柔道整復師会連携)介護職員のための運動器の障害予防教室～肩・腰・膝を中心に～	2時間	40名	P. 20
2211	演習	介護職員のための記録・報告の技術	3時間	30名	P. 20
2212	演習	「難聴」の理解～高齢難聴者の接し方と補聴器の有効活用～	2時間	40名	P. 20
2213	演習	介護業務に活かすコミュニケーションスキル	3時間	30名	P. 20
2214	演習	(県柔道整復師会連携)柔道整復師が教える 身体を動かして予防する認知症講座	2時間	40名	P. 20
◎2302	Zoom	依存症の高齢者への対応のポイント Zoom版	2時間	40名	P. 21
◎2303	Zoom	介護職員のメンタルヘルス Zoom版	2時間	40名	P. 21
★◎2304	オンデマンド (動画配信)	ハラスメント防止研修 オンデマンド(動画配信)版 ※◎3304と同内容になります	2時間	50名	P. 21
★◎2305	オンデマンド (動画配信)	BCP研修(自然災害) オンデマンド(動画配信)版 ※◎3305と同内容になります	2時間	50名	P. 21

V 研修科目一覧

3. 介護支援専門員研修

★2026年度新規科目 ◎オンデマンド(動画配信)科目

研修科目コード	研修形態	科目名	時間数	定員	掲載ページ
3102	講義	要介護の原因となる病気の理解	3時間	40名	P. 22
3103	講義	(県薬剤師会連携)介護支援専門員として知っておきたい高齢者の薬物療法の問題点と対策	3時間	40名	P. 22
3104	講義	ICF(国際生活機能分類)の理解	3時間	40名	P. 22
3106	講義	介護支援専門員のための栄養マネジメント入門	3時間	40名	P. 22
3107	講義	看取りにおけるケアマネジメント	3時間	40名	P. 22
3202	演習	ケアプラン作成のポイント	3時間	40名	P. 22
3203	演習	介護支援専門員のための事例検討の進め方	3時間	40名	P. 22
3204	演習	介護支援専門員のためのサービス担当者会議の開き方・進め方	3時間	40名	P. 23
3205	演習	介護支援専門員のための対人援助技術	3時間	40名	P. 23
3206	演習	認知症の方の介護者に対する理解と支援	3時間	40名	P. 23
3207	演習	(県柔道整復師会連携)ケアマネジメントに必要な筋骨格系疾患の理解～大腿骨頸部骨折・脊椎圧迫骨折等含む～	3時間	40名	P. 23
★3208	演習	困難事例の対応について	3時間	40名	P. 23
◎3302	オンデマンド (動画配信)	認知症の方の理解～若年性認知症の方への支援のポイント～ オンデマンド(動画配信)版	2時間	50名	P. 23
★◎3304	オンデマンド (動画配信)	ハラスメント防止研修 オンデマンド(動画配信)版 ※◎2304と同内容になります	2時間	50名	P. 23
★◎3305	オンデマンド (動画配信)	BCP研修(自然災害) オンデマンド(動画配信)版 ※◎2305と同内容になります	2時間	50名	P. 23

VI 研修科目概要

1. 家庭介護者等養成研修(呼称：ハートフルケアセミナー)

★2026年度新規科目

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
1101	講義	家庭介護を担う人の心構え	2時間 定員40名	家庭で高齢者介護を進める際の心構えや介護サービス(介護に関わる専門家)の概要、ストレスをためない重要性を学ぶ。		
1102	講義	高齢者のための健康管理	2時間 定員40名	高齢者の健康管理を目的に、高齢者に多い疾患と感染症、皮膚トラブル等、予防・ケアのポイントを学ぶ。		
1103	講義	認知症の方の基礎理解とケア	2時間 定員40名	認知症の原因疾患、代表的な中核症状、行動・心理症状を理解しながら、認知症の方とのコミュニケーションの基本を学ぶ。		
1104	講義	高齢者のための介護予防入門	2時間 定員40名	介護予防が必要になった背景から国の方針、要介護の原因について理解を深め、サロンの活用や地域づくり等が住み慣れた地域での元気な暮らしへ繋がることなど、介護予防の基本について、身近にできるエクササイズやストレッチと共に学ぶ。	金曜日の実施は不可	
1105	講義	家庭介護におけるトラブルと応急手当の基礎知識	2時間 定員40名	高齢者が家庭で巻き込まれるトラブル(窒息、誤嚥、転倒、火傷、熱中症等)と応急手当の基礎、救急外来への受診の目安や救急車手配の注意点などを学ぶ。		
1106	講義	(県薬剤師会連携) 高齢者が薬・健康食品と上手につきあうために	2時間 定員40名	薬や健康食品の基礎知識(特徴や危険性など)を学び、薬や健康食品と上手に(安全に、効率よく)付き合う方法を身につける。	・6月以降開講 ・13時半もしくは14時開始 ・候補日のうち水曜日または木曜日を1日は含む	有

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
1107	講義	高齢者の健康寿命を延ばす食生活	2時間 定員40名	高齢者に必要な栄養素・栄養量のほか、口から食べることの意義、低栄養状態のリスクや生活習慣病等について食生活の面から理解を深め、その予防について学ぶ。		
1109	講義	家庭で使える福祉用具	2時間 定員40名	高齢者などの要介護者に必要な福祉用具の紹介と、福祉用具の選び方、メンテナンスのほか、レンタルできる福祉用具とその利用にかかわる仕組みについて学ぶ。		
1110	講義	高齢者施設の選び方 ～どこで最期を迎えるか～	2時間 定員40名	望む場所で最期を迎えるにあたって、在宅か病院か高齢者施設か…現在の状況や、それぞれの特徴など理解を深めるとともに、ご自身やご家族の状況に応じた選定の注意点や、高齢者施設選びのポイントを学ぶ。		
1111	講義	高齢者のための依存症の理解と支援	2時間 定員40名	アルコール、ギャンブル、タバコ、スマホ、買い物など…身近に潜んでいる依存症の種類や、そのメカニズムを学ぶとともに症状や生活への影響について理解を深め、予防方法や依存症の方への適切な対応・接し方を学ぶ。	水曜日実施	
1112	講義	超入門ー知っておきたい福祉用語について ～福祉用語の学びを通して、 福祉について理解しよう～	2時間 定員40名	福祉で使われる基本用語から介護保険制度の利用において使われる福祉用語など学び、福祉についての理解を深め、これからの福祉との関わりについて考える。		
1113	講義	家庭介護を担う人のためのメンタルヘルス	2時間 定員40名	家庭介護におけるストレスに対するメンタルヘルスについて学びながら、心の健康を保つためのセルフケアの方法を学ぶ。	水曜日実施	
★1114	講義	家庭における看取りの理解	2時間 定員40名	家庭において家族として看取りを行なう際にどのような準備が必要かを学ぶ。ご本人の肉体や精神的な苦痛を理解し、穏やかで尊厳のある死を迎えられるためのサポートや心構えを理解する。		

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
1201	演習	口腔機能向上～健康寿命を延ばす口腔ケア～	2時間 定員40名	歯周病による合併症(脳卒中、心疾患、糖尿病、誤嚥性肺炎など)を予防するために重要な口腔機能向上の方法や口腔ケアの基本を学ぶ。	給排水設備が近くにある講義室	有
1202	演習	バイタルサインを高齢者の体調管理に生かす	2時間 定員40名	健康的な生活を継続するための目安として、体温、血圧、脈拍、呼吸(バイタルサイン)の標準値や正しい測定方法、生活習慣病予防のポイント等を学ぶ(体温測定、血圧測定の測定体験あり)。		有
1203	演習	家庭でできる脳生き生きトレーニング ～認知症予防に向けて～	2時間 定員40名	言語聴覚士の指導のもと、認知症予防を目的とした脳の活性化や機能維持のためのトレーニング方法(歌唱や手の運動等と組み合わせた認知トレーニング)を体験するとともに、脳機能の作用やメカニズムへの理解を深め、認知症予防を学ぶ。	・水曜日、14時以降実施	
1204	演習	家庭介護に必要な介護技術入門① ～体位変換と移乗の介助～	2時間 定員20名	体の動きをふまえ、ベッド上での体位変換やベッドからの移乗介助について体験レベルの演習を通じて理解する。	・広めの講義室 ・ベッド	有
1205	演習	家庭介護に必要な介護技術入門② ～車椅子介助の基本～	2時間 定員20名	高齢者の日常の生活のしづらさを学び、車椅子の取扱方法や介助の基本を体験レベルの演習を通じて理解する。	・車椅子 ・広めの講義室 ・屋内外のスロープおよび段差	有
1206	演習	家庭介護に必要な介護技術入門③ ～排泄介助の基本:トイレへの移動 ・ポータブルトイレの利用～	2時間 定員20名	排泄の仕組みをふまえ、ベッドや車椅子からのトイレへの移乗介助の基本を体験レベルの演習を通じて理解する。	・広めの講義室 ・ベッド ・車椅子 ・ポータブルトイレ	有
1207	演習	家庭介護に必要な介護技術入門④ ～食事介助～	2時間 定員20名	嚥下の仕組みをふまえ、食事の介助方法や食事の形状、経口摂取の工夫について、体験レベルの演習を通じて理解する。		有

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
1208	演習	家庭介護に必要な介護技術入門⑤ ～衣服の着脱・清拭の介助～	2時間 定員20名	衣服の着脱介助と、清拭の実施方法等について体験レベルの演習を通じて理解する。	広めの講義室	有
1209	演習	知っておきたい高齢者の排泄トラブル ～排泄トラブルの原因と対応～	2時間 定員20名	排泄トラブルはご本人にとってとても重要な問題であるが、まわりの方に相談しにくい問題である。排泄トラブルの原因を理解し、適切なおむつの選び方、使い方を学ぶと共に、福祉用具の活用方法についても学ぶ。	・広めの講義室 ・ベッド	有
1213	演習	家族介護を担う人のためのリフレッシュ講座 ～心と体をスッキリ！～	2時間 定員40名	介護ストレスを抱えがちな家庭介護者が心身ともにリフレッシュするためのレクリエーション(軽運動含む)のいくつかを体験する。	広めの講義室	
1214	演習	(県柔道整復師会連携) 転ばないための身体づくりと 転んでしまった後の運動と対処法について	2時間 定員40名	体や動作のしくみから、転倒や骨折の原因から応急処置の方法を学ぶ。そして、転倒予防のための運動や転倒などで体が弱ってしまった後に、家庭で介護者が負担なく提供できる機能回復運動などを学ぶ。	・原則(13時～16時)の間に実施 ・広めの講義室	
1215	演習	超高齢社会における住民の主体的地域活動の 必要性和心構え	2時間 定員40名	お互いに支えあうことのできる社会を目指して、一人ひとりの住民が主体的に地域に関わることの意味・目的を学ぶ。		
1216	演習	超高齢社会の地域活動に生かすレクリエーション ～仲間を繋ぐ仕掛けのあれこれ～	2時間 定員40名	地域でのグループワークやサロン活動などで活用できるレクリエーションのいくつかを体験レベルの演習を通じて学ぶ。	・6月開講 ・広めの講義室	
1217	演習	「難聴」の理解 ～耳が聞こえないってどういうこと～	2時間 定員40名	難聴のメカニズムをはじめ種類や特徴を学び、難聴の方の聞こえの状態の体験や、補聴器の聞こえを体験しながら難聴への理解を深めると共に、補聴器の取り扱い方法などを学ぶ。	・4月～9月は木曜日14時以降 ・10月～3月は水曜日14時以	

2. 現任介護職員研修

★2026年度新規科目 ◎Zoom・オンデマンド（動画配信）科目

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
2101	講義	褥瘡のケアとその予防について	2時間 定員40名	褥瘡発生のメカニズム、好発部位、発生危険因子、観察のポイント、予防のためのケアなどについて学ぶ。		
2102	講義	介護職員として知っておきたい病気の基礎知識	2時間 定員40名	高齢者に多い病気の種類とその症状、ケアの際の注意点、観察のポイント、予防方法などについて学ぶ。		
2103	講義	認知症の理解とコミュニケーション技術	3時間 定員40名	認知症の原因疾患、代表的な中核症状、行動・心理症状をふまえ、対応の基本を学び、ケアやコミュニケーションにおけるポイントを理解する。		
2104	講義	(県薬剤師会連携) 介護職員として知っておきたい薬の基礎知識	2時間 定員40名	薬についての基礎知識(薬の特徴、注意すべき症状、生活の変化等)と薬剤師の業務(服薬支援・体調チェックの実際等)の理解を深め、介護現場での業務、服薬支援や多職種連携(利用者情報の共有)のポイントを学ぶ。	・6月以降開講 ・13時半もしくは14時開始 ・候補日のうち水曜日または木曜日を1日は含む	有
2105	講義	介護職員のための栄養管理入門	2時間 定員40名	口から食物を摂取する意味、低栄養が引き起こす機能低下や身体不調など、介護職員が知っておくべき栄養管理の基本を学ぶ。		
2106	講義	介護現場での事故防止・救急対応	2時間 定員40名	転倒時の骨折や誤嚥を防ぐための工夫、転倒や誤嚥など、急変時のチェックポイントや救急対応のポイントを学ぶ。		

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
2107	講義	介護現場で起こりやすい感染症と対策 ～コロナ、ノロ、食中毒など～	2時間 定員40名	感染のメカニズムと予防策のほか、高齢者に多い感染症(コロナ、ノロ、食中毒など)について学び、介護職員としてケアする上での留意点を確認する。		
2108	講義	介護実践に必要な観察のポイント	2時間 定員40名	利用者の日々の生活を支えるために必要な観察のポイント(観察の方法、収集すべき情報や状態が急変する前のサインといった観察の視点など)を学ぶ。		
2109	講義	介護職員のメンタルヘルス	2時間 定員40名	ストレスを感じやすい介護職員向けに、メンタルヘルスについて学びながら心の健康を保つためのセルフケアの方法を学ぶ。	水曜日実施	
2110	講義	リスクマネジメント研修 ～虐待・身体拘束防止を中心に～	2時間 定員40名	介護の仕事で大事にすべき事柄を確認しつつ、介護職員として認識すべきリスクマネジメントから守るべきルール、マナーまでを学ぶ。		
2111	講義	介護職員のための看取り入門	2時間 定員40名	看取りの経験の少ない介護職員を対象に、看取りを行なう際の心構えや注意点、旅立った後の変化やご家族への精神的ケアなどを学ぶ。		
2112	講義	抱え上げない介護 ～ノーリフト®で腰痛予防対策～	2時間 定員20名	抱え上げない介護(ノーリフト®)の基本的な考え方や、ノーリフト®の実際について、福祉用具の活用を含め体験的に学ぶ。		
2113	講義	依存症の高齢者への対応のポイント	2時間 定員40名	依存症のメカニズムや、その症状や生活への影響について理解を深め、依存症の方への対応方法や、ご本人やご家族への接し方のポイントを学ぶ。	水曜日実施	

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
2114	講義	障がいを持つ高齢者の理解と支援について	2時間 定員40名	障がいを持つ方の高齢化は年々進んでおり、介護保険制度を利用する方も増えてきている。介護施設で働く職員が理解すべき障がいやその制度を理解し、支援の根本となる考え方について学ぶ。		
2201	演習	福祉用具入門～力のいらない介護～	2時間 定員40名	介助の際に活用できる福祉用具の紹介と注意点、代表的な福祉用具（ボード、シート、リフトなど）について演習を通じて、力のいらない介護について体感的に学ぶ。	広めの講義室	
2202	演習	介護現場でのレクリエーション支援 ～レクリエーションで介護予防～	2時間 定員40名	デイサービスや施設など、地域の高齢者が集まる場所で活用できる介護予防につながるレクリエーションについて体験的に学ぶ。	広めの講義室	
2203	演習	基礎から学べる介護技術① ～体位変換と移乗の基本～	3時間 定員20名	ボディメカニクスや体位の種類、体への触れ方を学ぶ。そして、介護技術の根拠の理解に主眼を置きながら、ベッドから車椅子への移乗にかかわる基本技術を体験する。	・広めの講義室 ・ベッド ・車椅子	有
2204	演習	基礎から学べる介護技術② ～口腔ケアの基本～	3時間 定員20名	口腔の仕組みから、口腔内の病気や口が関係する全身の病気を学ぶ。そして、介護技術の根拠の理解に主眼を置きながら、口腔ケアにかかわる基本技術を体験する。	給排水設備が近くにある講義室	有
2205	演習	基礎から学べる介護技術③ ～排泄介助の基本:トイレへの移乗 ・ポータブルトイレの利用～	3時間 定員20名	排泄のメカニズムから、排尿障害の種類や便秘、オムツの種類と特徴などを学ぶ。そして、介護技術の根拠の理解に主眼を置きながら、ベッドや車椅子からトイレへの移乗やポータブルトイレ利用にかかわる基本技術を体験する。	・広めの講義室 ・ベッド ・車椅子 ・ポータブルトイレ	有
2206	演習	基礎から学べる介護技術④ ～食事介助の基本～	3時間 定員20名	食事の意義、誤嚥を防ぐためのポイント（姿勢や食事形態など）を学ぶ。そして、介護技術の根拠の理解に主眼を置きながら、食事介助のポイントを学び、食事介助の基本技術を体験する。	・広めの講義室 ・ベッド	有

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
2207	演習	基礎から学べる介護技術⑤ ～衣服の着脱・清拭の基本～	3時間 定員20名	衣服の着脱の意義、プライバシーを配慮するなどの環境を整えることなど学ぶ。そして、介護技術の根拠の理解に主眼を置きながら、衣服の着脱介助や清拭、入浴介助にかかわる基本技術を体験する。	・広めの講義室 ・ベッド	有
2208	演習	排泄ケアのポイントと福祉用具の活用	2時間 定員20名	排泄トラブルは、ご本人の心身の状態や介護力、生活環境など様々な原因によって起こるため、丁寧なアセスメントに基づく原因に見合った対応を行う事が重要になる。本講座では、排泄ケアのポイントとなる、アセスメントを通じた福祉用具やおむつの活用方法について学ぶ。	・6月以降開講 ・広めの講義室 ・ベッド	有
2210	演習	(県柔道整復師会連携) 介護職員のための運動器の障害予防教室 ～肩・腰・膝を中心に～	2時間 定員40名	介護職員にとって職業病になりかねない腰痛に加え肩関節、膝関節の3つの部位の運動器の障害について学び、予防・改善に有効なストレッチ体操や筋力トレーニング方法を実際に身体を動かして学ぶ。	・原則(13時～16時)の間に実施 ・広めの講義室	
2211	演習	介護職員のための記録・報告の技術	3時間 定員30名	ケアプランに基づいたサービスを提供するために、介護職員が知っておくべき記録・報告の重要性を理解する。また、何をどのように記録するのかを学び、適切な記録、報告のための技術を学ぶ。		
2212	演習	「難聴」の理解 ～高齢難聴者の接し方と補聴器の有効活用～	2時間 定員40名	老人性難聴の方に対するコミュニケーションの取り方、援助のポイントの理解を深めるとともに、実際に補聴器の聴こえを体験しながら補聴器の取り扱い方法を学ぶ。	・4月～9月：木曜日14時以降 ・10月～3月：水曜日14時以降	
2213	演習	介護業務に活かすコミュニケーションスキル	3時間 定員30名	ご家族や同僚・上司との良好な関係作りのために、コミュニケーションの基本(情報を受け取る能力、伝える能力、非言語的なコミュニケーション能力など)を学ぶ。		
2214	演習	(県柔道整復師会連携) 柔道整復師が教える 身体を動かして予防する認知症講座	2時間 定員40名	運動が認知症に及ぼす効果について理解する。認知症はストレッチより有酸素運動が効果があり、デュアルタスクやコグニサイズも有効になる。理論にプラスして実際の方法を体感しながら学ぶ。	・原則(13時～16時)の間に実施 ・広めの講義室	

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
◎2302	Zoom	依存症の高齢者への対応のポイント Zoom版	2時間 定員40名	依存症のメカニズムや、その症状や生活への影響について理解を深め、依存症の方への対応方法や、ご本人やご家族への接し方のポイントを学ぶ。	・水曜日実施 ※P4～5をご確認ください。	
◎2303	Zoom	介護職員のメンタルヘルス Zoom版	2時間 定員40名	ストレスを感じやすい介護職員向けに、メンタルヘルスについて学びながら心の健康を保つためのセルフケアの方法を学ぶ。	・水曜日実施 ※P4～5をご確認ください。	
★◎2304	オンデ マンド (動画配信)	ハラスメント防止研修 オンデマンド(動画配信)版 ※介護支援専門員研修の3304と同じ内容になります	2時間 定員50名	基本的なハラスメントの考え方から、職場内におけるハラスメント行為や利用者からのハラスメントを未然に防ぐための知識などを実際の事例を踏まえて学ぶ。	※P6～7をご確認ください。	
★◎2305	オンデ マンド (動画配信)	BCP研修(自然災害) オンデマンド(動画配信)版 ※介護支援専門員研修の3305と同じ内容になります	2時間 定員50名	BCPの基本理解から災害発生時の初動対応や事業継続に向けた日ごろの取り組みなどについて、過去に発生した事例や先駆的な取り組みなどから学ぶ。	※P6～7をご確認ください。	

3. 介護支援専門員研修

★2026年度新規科目 ◎オンデマンド（動画配信）科目

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
3102	講義	要介護の原因となる病気の理解	3時間 定員40名	要介護の原因となってしまう高齢者の病気の種類、症状と経過、後遺症や合併症などの基礎知識を学ぶ。		
3103	講義	(県薬剤師会連携) 介護支援専門員として知っておきたい 高齢者の薬物療法の問題点と対策	3時間 定員40名	高齢者の薬物療法の問題点と対策について学び、多職種と連携して、薬物療法を有効且つ安全に実施するための支援を考える。	・6月以降開講 ・13時半もしくは14時開始 ・候補日のうち水曜日または木曜日を1日は含む	有
3104	講義	ICF(国際生活機能分類)の理解	3時間 定員40名	ICF(国際生活機能分類)の考え方を理解し、ケアプランの作成やケアマネジメントでの活用を検討する。		
3106	講義	介護支援専門員のための栄養マネジメント入門	3時間 定員40名	低栄養を予防する観察ポイントや、栄養と関連する高齢者の疾患についての理解を深め、在宅でも食を楽しむための支援を考える。		
3107	講義	看取りにおけるケアマネジメント	3時間 定員40名	看取り期の心身の変化、死の兆候など、死にゆく過程・苦痛の種類を緩和ケア、意思決定支援など、看取りにおけるケアマネジメントのプロセスやポイントを学ぶ。		
3202	演習	ケアプラン作成のポイント	3時間 定員40名	ケアプラン作成のポイントを確認しながら、利用者本位のケアプランを作成するために必要な視点を学ぶ。		
3203	演習	介護支援専門員のための事例検討の進め方	3時間 定員40名	事例検討の基本を学ぶことで、困難事例への対応やケアマネジメントの向上を目指す。		

研修科目 コード	研修形態	科目名	時間数 定員	概要	条件	係員 派遣
3204	演習	介護支援専門員のための サービス担当者会議の開き方・進め方	3時間 定員40名	サービス担当者会議を開催する際に、知っておきたい 会議運営のポイントを学ぶ。		
3205	演習	介護支援専門員のための対人援助技術	3時間 定員40名	利用者や家族とかかわる際に必要な面談・コミュニケー ション技術の基本を確認する。		
3206	演習	認知症の方の介護者に対する理解と支援	3時間 定員40名	認知症の利用者を支援するために重要な介護者支援 について、介護者の心理や負担感を理解しながら、 フォーマル・インフォーマルを含めた支援の在り方を考 える。	午後実施	
3207	演習	(県柔道整復師会連携) ケアマネジメントに必要な筋骨格系疾患の理解 ～大腿骨頸部骨折・脊椎圧迫骨折等含む～	3時間 定員40名	大腿骨頸部骨折等を含む介護が必要となった主な原因 約4割の筋骨格系疾患の特徴を基本的に理解します。 さらに、実際の運動療法についても実践を通して支援 法を学ぶ。	・原則(13時～17時)の間に実施 ・広めの講義室	
★3208	演習	困難事例の対応について	3時間 定員40名	ケアマネジメントにおける困難事例について、家族支援 から多様な連携先との関係づくり、サービス利用につい てのポイントや対応方法などを演習を通して学ぶ。		
◎3302	オンデ マンド (動画配信)	認知症の方の理解 ～若年性認知症の方への支援のポイント～ オンデマンド(動画配信)版	2時間 定員50名	高齢者の認知症の方と、若年性認知症の方とのニーズ の違いを学ぶとともに、介護サービスだけではなく、就労 支援や経済的支援、障害福祉サービスの利用など、幅 広く漏れのない支援を行う視点を学ぶ。	※P6～7をご確認ください。	
★◎3304	オンデ マンド (動画配信)	ハラスメント防止研修 オンデマンド(動画配信)版 ※現任介護職員研修の2304と同じ内容になります	2時間 定員50名	基本的なハラスメントの考え方から、職場内においての ハラスメント行為や利用者からのハラスメントを未然に防 ぐための知識などを実際の事例を踏まえて学ぶ。	※P6～7をご確認ください。	
★◎3305	オンデ マンド (動画配信)	BCP研修(自然災害) オンデマンド(動画配信)版 ※現任介護職員研修の2305と同じ内容になります	2時間 定員50名	BCPの基本理解から災害発生時の初動対応や事業継続 に向けた日ごろの取り組みなどについて、過去に発 生した事例や先駆的な取り組みなどから学ぶ。	※P6～7をご確認ください。	

※研修科目コード3102,3103,3104,3106,3107および3202～3208が、「主任介護支援専門員更新研修受講要件に該当する研修」に当たるかどうかについては、
「一般社団法人 愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会」にお問合せ下さい。

ご不明な点がございましたら、研修センターまでお問い合わせください。

(振興協会代行)

日本福祉大学社会福祉総合研修センター

市町村振興協会研修事務局

〒460-0012 名古屋市中区千代田五丁目22番35号

TEL(052)242-3069 FAX(052)242-3020

Eメール:kateikaigo@ml.n-fukushi.ac.jp